

# 第58回 日本高気圧潜水医学会 学術総会

# 天外蒼天

## プログラム

会 期：2024年6月28日(金)～29日(土)

会 場：ヴィラルーチェ（大分県中津市東本町1）

会 長：川 眞之  
社会医療法人玄真堂 川島整形外科病院 院長

WEBページ：<https://kawashimahp.jp/juhms58/>

第58回 日本高気圧潜水医学会学術総会 事務局

〒871-0012 大分県中津市宮夫17（社会医療法人玄真堂川島整形外科病院内）  
TEL 0979-24-0464 FAX 0979-24-6258 E-mail juhms58@kawashimahp.jp

## 目 次

学会長あいさつ .....	1
会場へのアクセス .....	2
会場案内 .....	3
参加者の皆様へ .....	4
座長・演者の皆様へ .....	6
各種会議のお知らせ .....	8
関連行事のお知らせ .....	9
タイムテーブル .....	10
プログラム .....	11
演者略歴 .....	19
協賛お礼 .....	29



## 学会長あいさつ

第58回 日本高気圧潜水医学会 学術総会

学会長 川嶌 眞之

(社会医療法人玄真堂 川嶌整形外科病院 院長)

この度、日本高気圧環境・潜水医学会（JSHUM）と日本臨床高気圧酸素・潜水医学会（JACHOD）合併後初の記念すべき第58回日本高気圧潜水医学会の学術総会会長を仰せつかり、光栄に思うとともに身の引き締まる思いでございます。学会のテーマとして、“雲外蒼天”という言葉掲げました。“苦勞して困難を乗り越えた先には明るい未来がある”という意味です。合併に至る経緯については前回の学術総会の特別講演にて柳下和慶先生と四ノ宮成祥先生よりお話があったとおりで、多くの先生方のご尽力によって目的を同じくする2つの学会が歩みを共にすることが実現しました。それぞれの学会のこれまでの経験を集結することで、日本の高気圧・潜水医学の未来に明るい展望をもたらすことと思います。

開催にあたりゲストスピーカーとして、アメリカのUndersea and Hyperbaric Medical Society (UHMS) Executive directorのJohn S Peters氏、カリフォルニアLong Beach Medical CenterのMichael Strauss先生、ウィスコンシン大学のAleksy Sobakin氏、高圧生理学の第一人者である関邦博先生をお迎えする予定です。海外を含め世界の第一線で御活躍されている多くのゲストをお迎えすることができ、大変嬉しく思うとともに招請にご快諾していただいた先生方に感謝申し上げます。この学会を通じて、学術的な知識や国際的な交流を深め、新たな視点を獲得の機会となれば幸いです。

近年の本学会では臨床工学技士や看護師の方々向けのセッションも数多く見られます。UHMSにおいても職種別の部会が毎年開催されています。これは高気圧酸素治療が医師のみでなく技師や看護師の皆様が力無くして成り立たないことを物語っています。皆様の専門知識と経験は、本学会をより豊かなものにすることと確信しています。多くの方のご参加と活発な討議を期待しています。

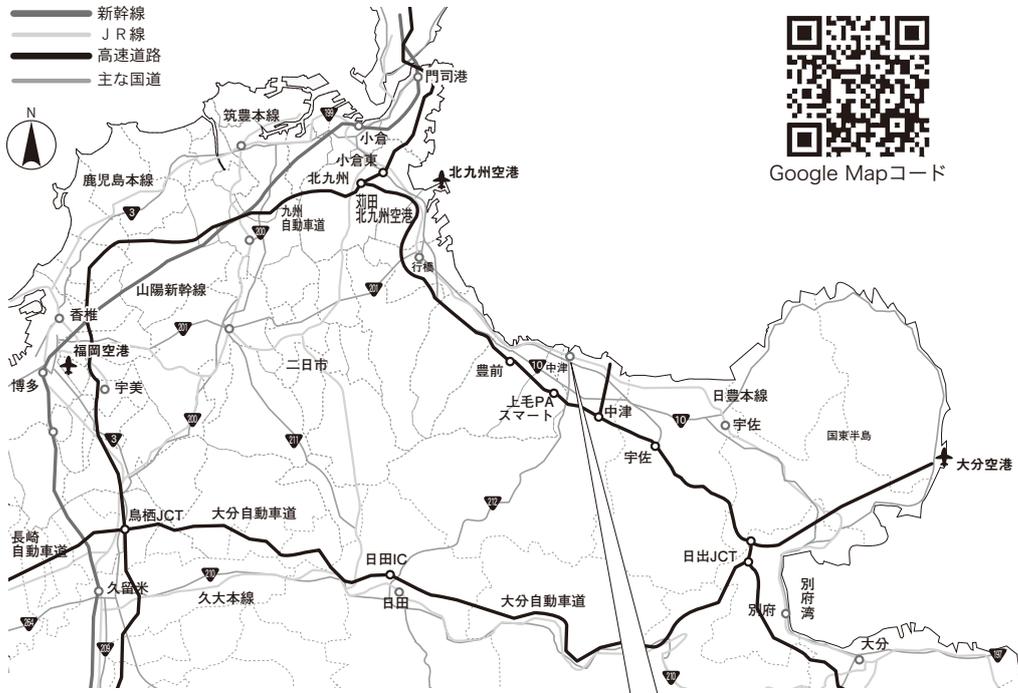
中津市は、心臓の刺激伝導系を解明した田原淳先生や、慶應義塾を創立した福澤諭吉先生といった偉大な学者を輩出し、解体新書を刊行した前野良沢を含む多くの蘭学者にゆかりのある歴史的な町でもあります。中津市はその誇りを胸に、市全体で「蘭学の里」としてのアピールを精力的に行っています。学会終了後には、村上医家史料館や大江医家史料館など、医学史や蘭学の面白さに触れてみるのはいかがでしょうか。また、大分県は言わずと知れた源泉数世界一を誇る“おんせん県”です。別府や湯布院、あるいはお隣熊本県の阿蘇山などへ足を延ばし、温泉で日頃の疲れを癒すのもおすすめです。大分県は食に関しても魅力（味力）満載で、中津からあげやとり天、夏に旬を迎える豊前海の鱧、おおいた和牛や豊後牛、佐賀関の関アジ・関サバ、ワイン、焼酎など、山海の幸がたくさん揃っています。“日本一のおんせん県おおいた”を存分に楽しんでください。

# 会場へのアクセス

[会場] ヴィラルーチェ

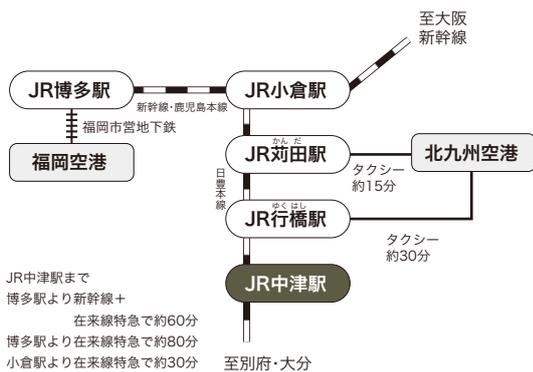
〒871-0032 大分県中津市東本町1 (JR 中津駅 南口徒歩1分)

TEL 0979-23-1122



## ●公共交通機関の場合

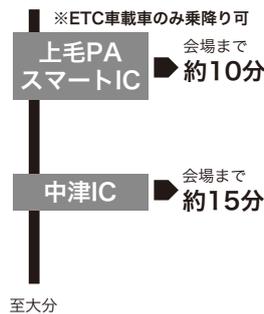
福岡空港または北九州空港のご利用が便利です



## ●自動車の場合

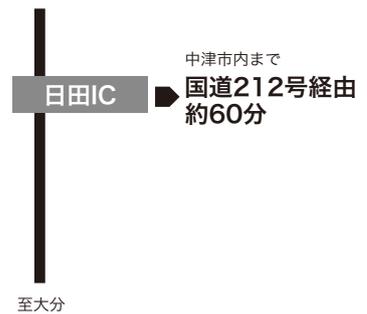
### 東九州自動車道

至福岡・北九州



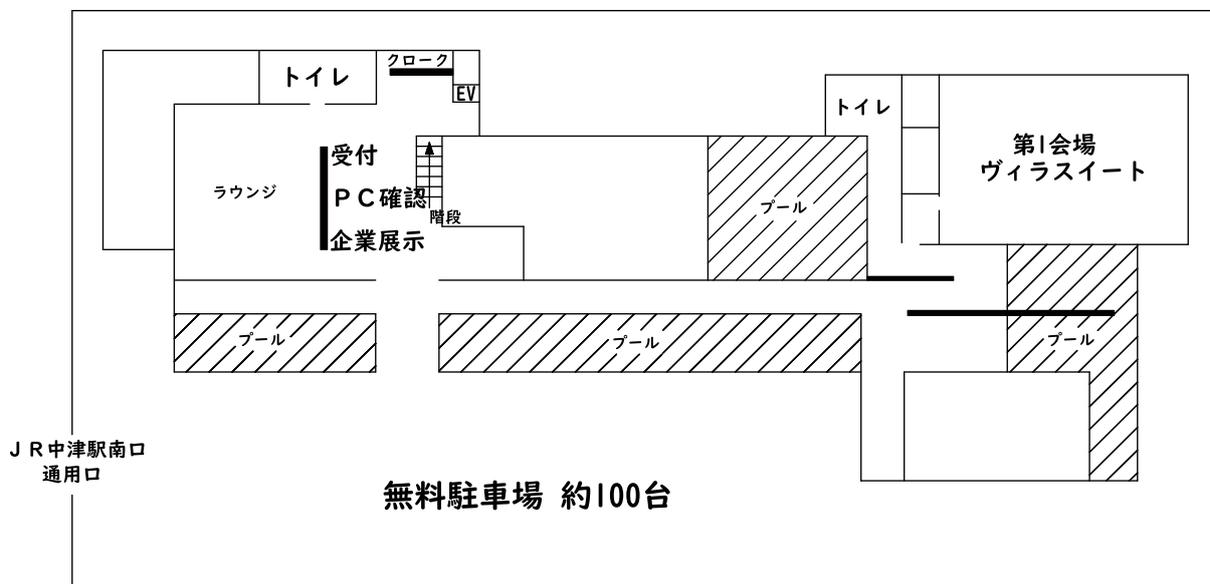
### 大分自動車道

至鳥栖JCT

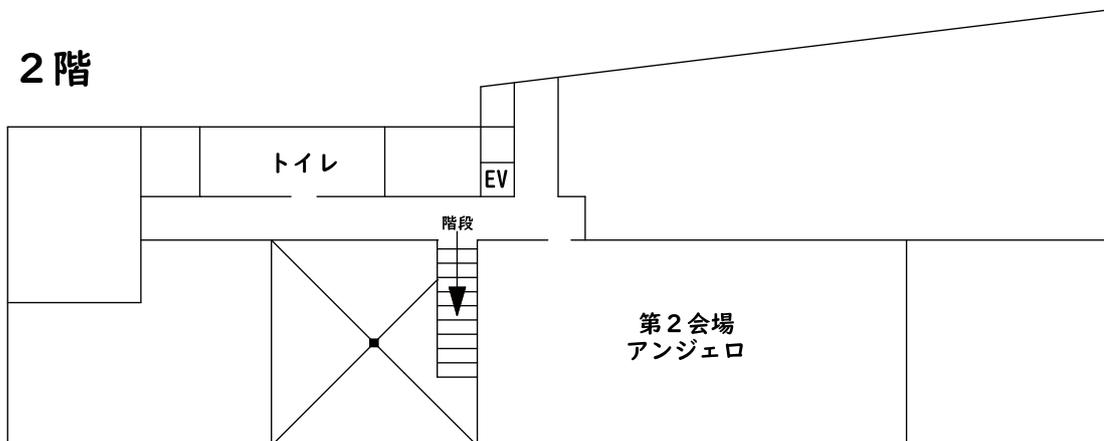


# 会場案内

## 1階



## 2階



# 参加者の皆様へ

## 1. 参加資格

- 1) 本学会学術総会は、すべての参加者に開かれます。
- 2) 本学会学術総会に参加される方は、事前にオンラインにて参加登録を行ってください。
- 3) 一般演題における発表者は日本高気圧潜水医学会会員に限りますので、未入会の方は入会手続きを行ってください。入会手続きは本学会事務局までお問い合わせください。

【一般社団法人 日本高気圧潜水医学会 事務支局】

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル

株式会社毎日学術フォーラム内

TEL：03-6267-4550 FAX：03-6267-4555

E-mail：maf-jshum@mynavi.jp

※一般演題を含むすべての演題の題名、演者名、所属はホームページに公開されます。  
また、学術総会後にプロシーディングとして発表内容を学術誌に掲載いたします。

## 2. 事前参加登録・参加費のお支払い

学術総会WEBサイトより事前参加登録を行ってください。

参加費のお支払いについては別途お知らせいたします。

参加登録はこちらから <https://kawashimahp.jp/juhms58/entry-society/>

申込み締切：2024年6月20日（木）

参加費

	事前参加登録・支払い (クレジットカードまたは銀行振込)	当日払い (当日は現金のみ)
医師(会員)	¥15,000	¥16,000
医師(非会員)	¥16,500(税込み)	¥17,600(税込み)
医師以外(会員)	¥5,000	¥6,000
医師以外(非会員)	¥5,500(税込み)	¥6,600(税込み)

※非会員の方は課税対象となります

※事前に参加申込みをされても支払いが当日の場合は当日料金となります

## 3. 当日の受付

- 1) 当日は事前参加登録したお名前を受付デスクにてお申しつけください。ネームカード・参加証明書・領収書をお渡しいたします。会場内ではネームカードを必ずご着用ください。
- 2) 事前に参加費のお支払いがお済でない方は当日に受付デスクにてお支払いください。  
※当日のお支払いは現金のみとなります
- 3) プログラム・抄録集は当日の配布は行いません。

※抄録集は学会WEBサイトから各自ダウンロードしてください。

※抄録集パスワードは【juhms58】



#### 4. 全体懇親会について

学術総会1日目終了後に全体懇親会を予定しております。懇親会への参加は事前参加登録が必要となります。学会WEBサイトよりお申し込みください。参加費のお支払いについては申込後学術総会事務局よりお知らせいたします。

参加申込み：<https://kawashimahp.jp/juhms58/entry-society/>

申込み締切：2024年6月15日（土）

参加費：¥5,000（税込み）

日時：2024年6月28日（金）18：30～

会場：ヴィラルーチェ2階 アンジェロ

#### 5. 会場での注意

- 1) 原則として、会場内での呼び出しは行いませんので予めご了承ください。
- 2) 会場での録音や撮影はご遠慮ください。印刷物の掲示や配布、カメラやビデオ等での撮影については、事前に会長の許可を得ている場合のみとなります。
- 3) 携帯電話は電源を切るかマナーモードに設定をお願いします。
- 4) 手荷物をお預けの際は会場施設（ヴィラルーチェ）のクロークがご利用になれます。

#### 6. 日本高気圧潜水医学会生涯教育単位について

- 1) 本学術総会では、日本高気圧潜水医学会生涯教育単位（16単位）を取得できます。
- 2) 当日は単位登録票を学会事務局の回収箱に入れてください。
- 3) 参加証明書は各自で保管ください。

#### 7. お問い合わせ

【学術総会事務局】

〒871-0012 大分県中津市宮夫17（社会医療法人玄真堂 川畷整形外科病院内）

TEL 0979-24-0464 FAX 0979-24-6258

E-mail juhms58@kawashimahp.jp

## 座長・演者の皆様へ

### 1. 発表形式・時間

	形式	発表時間	質疑応答
一般演題	口演	5分	3分
シンポジウム	口演	セッション毎に定める	

### 2. 座長の皆様へ

- セッション開始30分前までに会場にお越しください。
- 各セッションの開始10分前までに次座長席までお越しください。
- 進行は座長に一任いたしますので、時間厳守にご協力をお願いいたします。

### 3. 演者の皆様へ

- 発表はパソコン1台によるプレゼンテーションとなります。
- 発表セッション開始60分前までに動作確認を済ませ、セッション開始までに会場内にお入りください。前演者の発表中に次演者席へ移動をお願いします。
- スライド送りの操作は、演台上に用意しているマウス等を演者自身で操作してください。
- 発表者ツールはご利用できません。発表データ、原稿のプリントアウトは各自でご準備のうえ、ご持参ください。

#### 【PC動作確認】

場所：1階ロビー

時間：6月28日（金）8：30～ 6月29日（土）8：30～

#### 1) 発表用データの作成について

- 学会場で使用するパソコンのOS及びアプリケーションは以下の通りです。  
OS：Windows11    PowerPoint 2019
- データ作成の際は、OSに標準で装備されているフォントを使用してください。
- 動画・音声も使用できます。（※但し、動画はmp4に限らせていただきます）
- 事前に、データ作成に使用したPC以外で動作確認を行い、正常に動作することをご確認ください。
- 画面のアスペクト比は16：9です。

#### 2) 発表データの提出について

- 発表データは事前に学術総会事務局に提出してください。提出方法は別途お知らせいたします。

#### 【提出締切】2024年6月25日（火）正午

ファイル名は演題番号と筆頭演者の名前としてください。例）OP1-2 川畠.pptx  
リンクしているデータがあればすべてのデータを提出してください。

- 不測の事態に備えて、当日も必ずデータをご持参ください。対応メディアはUSBメモリに限ります。
- PC受付では発表データの最終確認を行っていただきますが、レイアウト崩れ以外の修正はできませんのでご注意ください。

- 会場内PCに保管されている発表データは、学会終了後に学術総会事務局にてすみやかに削除いたします。

#### 4. 利益相反（COI）の開示について

日本高気圧潜水医学会が主催する学術総会の演題発表に際して、発表者（演者）と共同研究者・共同発表者の利益相反を開示する必要があります。詳細は以下の通りとなりますので、必ずご確認の上、演題のご登録をお願いいたします。

##### 【対象者および対象】

対象となるのは①発表者および②共同研究者・共同発表者です。申告すべき対象は、発表内容に関連する企業や営利を目的とする団体との関係についてです。

##### 【学術総会での発表に際しての個人情報開示項目】

発表者は、発表スライドの2枚目に掲示してください（必須）。

抄録提出日を基準として過去3年間について開示をしてください。

#### 5. 雑誌への投稿のお願い

本会で発表されました貴重な演題につきまして、日本高気圧潜水医学会雑誌に玉稿を賜りますよう、お願い申し上げます。

#### 6. 演題採択

応募演題は会長が採択を決定いたしました。

#### 7. プロシーディングについて

プロシーディングとして発表内容を学会誌に掲載いたします。全ての演題が対象となります。下記の要領にて作成・提出してください。

##### ■原稿の作成要領

- ▶プロシーディング原稿は、抄録では掲載できなかった研究の成果を十分に記載し、図表、引用文献をつけて、学術的価値のあるものとしてください。
- ▶プロシーディング原稿には既定のフォーマットはありません。
- ▶Microsoft WordにてA4サイズ1ページ以内で作成してください。
- ▶図表や引用文献がある場合は、A4サイズ1ページに収まるように本文の字数を調整してください。
- ▶仕上がりは2段組1ページを予定しており、図表サイズが縮小されることをご留意ください。
- ▶プロシーディングには、演題タイトル、発表者氏名（共同発表者を含む）、所属をご記入ください。発表者氏名の頭には○を付けてください。
- ▶図表、引用文献の記載方法は、本学会の投稿規定に準じてください。ただし、引用文献の著者は筆頭著者のみ記載してください。

##### ■原稿の提出方法

- ▶発表当日までに原稿データファイルを学術総会事務局にメールでお送りください。
- ▶会場での受付は行いません。

■原稿の修正

▶学術総会での議論などを踏まえ、提出後に修正する場合、1週間以内にメールにて学術総会事務局まで修正原稿をお送りください。

## 各種会議のお知らせ

■理事会

日時：2024年6月27日（木）14：00～16：30

場所：グランプラザ中津ホテル2階 ボールルーム（大分県中津市東本町1-2）

開催形式：現地+オンライン会議システム（Zoom）のハイブリッド

■社員総会

日時：2024年6月27日（木）16：40～18：40

場所：グランプラザ中津ホテル2階 ボールルーム（大分県中津市東本町1-2）

開催形式：現地のみ

■会員総会

日時：2024年6月28日（金）13：05～13：25

場所：ヴィラルーチェ1階 ヴィラスイート

■各委員会

各委員長より別途連絡

## 関連行事のお知らせ

### ■全体懇親会

日時：2024年6月28日（金）18：30～

場所：ヴィラルーチェ2階 アンジェロ

参加申込み締切：2024年6月15日（土）

参加費：¥5,500（税込み）

※第58回学術総会事務局へお申込みください。

### ■海洋医療初期対応研修（ICMM：Immediate Care of Marine Medicine）

日時：2024年6月29日（土）9：00～12：00

場所：グランプラザ中津ホテル2階 ボールルーム（大分県中津市東本町1-2）

対象：第58回日本高気圧潜水医学会 学術総会の参加者

医療従事者（医師・看護師・コメディカル等）、警察・消防・海上保安庁・自衛隊等、  
漁協関係者、ダイビングインストラクター・レジャーダイバー、職業潜水関係者、  
海洋医療に関わるすべての職種の方

参加申込み：必要

※第58回日本高気圧潜水医学会 学術総会事務局へお申込みください。

定員：80名（先申込み順）

参加費：¥5,500

※第58回日本高気圧潜水医学会 学術総会へ参加費支払いの場合は追加の支払い不要

### ■市民公開講座

日時：2024年6月29日（土）15：40～16：40

場所：ヴィラルーチェ1階 ヴィラスイート

講師：関 邦博先生（理学博士・ポリビア高所病理研究所・ポリビア不老長寿研究所）

テーマ：『圧力と栄養と健康』

対象：どなたでも参加できます

参加申込み：不要

参加費：無料

# タイムテーブル

## 6月28日(金)

## 6月29日(土)

第1会場 ヴィラスイート		第2会場 アンジェロ		第1会場 ヴィラスイート	第2会場 アンジェロ	グランプラザ
8:30	受付			8:30	受付	受付
9:30	開会式			9:00	9:00~10:00 SY3 シンポジウム3 『今後の診療報酬改定を 見据えて』 座長:柳下和慶・阪本雄一郎	9:00~12:00 ICMM
9:45	9:45~10:45 SP1 特別企画 『新学会の展望』 座長:川島眞之 演者:柳下和慶・四ノ宮成祥			10:05	10:05~10:35 SL3 特別講演3 座長:四ノ宮成祥 演者:Aleksey Sobakin	
10:50	10:50~11:50 SL1 特別講演1 座長:小柳津卓哉 演者:Michael Strauss [Traumatic Ischemias and the Roles of Hyperbaric Oxygen Focusing on Crush Injuries & A Physiological Model for DCS Presentations]			10:40	10:40~11:30 OP5 一般演題 高気圧酸素治療の臨床① 座長:土居 浩・陣上直人	10:40~11:30 OP8 一般演題 教育・その他 座長:中島正一・右田平八
11:50				11:35	11:35~12:05 PL1 会長講演 演者:川島眞之	
12:00	12:00~13:00 LS1 ランチョンセミナー1 共催:オリエンタル白石株式会社 座長:田村裕昭 演者:オリエンタル白石株式会社 加藤茂樹・堀江正樹・ 根岸直人			12:10	12:10~13:10 LS2 ランチョンセミナー2 共催:日本サルヴェージ株式会社 座長:嶋田和人 演者:日本サルヴェージ株式会社 高瀬隆雄	
13:05	13:05~13:25 会員総会			13:15	13:15~14:05 OP6 一般演題 高気圧酸素治療の臨床② 座長:高木 元・原田正公	13:15~14:05 OP9 一般演題 管理・運用 座長:高倉照彦・南谷克明
13:30	13:30~14:45 SY1 シンポジウム1 潜水・潜函の安全管理 座長:鈴木信哉・小島泰史	13:30~14:10 OP2 一般演題 救急 座長:柳川洋一・三浦邦久		14:15	14:15~15:15 SY4 シンポジウム4 技術部会企画 『高気圧酸素治療の今までと 次世代からの提言』 座長:折原和広・金田智子	
14:50	14:50~15:35 SL2 特別公演2 座長:柳下和慶 演者:John S Peters [The Future of Undersea and Hyperbaric Medicine in the US: Survey Results]			15:15	閉会式	
15:40	15:40~16:40 OP1 一般演題 基礎研究 座長:森松嘉孝・藤田 基	15:55~16:35 OP3 一般演題 スポーツ外傷 座長:笹原 潤・星野 傑		15:40	15:40~16:40 市民公開講座 司会:川島眞人 講師:関 邦博 [圧力と栄養と健康]	
16:45	16:45~17:45 SY2 シンポジウム2 技術部会企画 『第1種装置複数台所有に伴う メリットデメリット』 座長:太田雅文・灘吉進也	16:40~17:30 OP4 一般演題 減圧症・潜水医学 座長:清水徹郎・玉木英樹		16:40		
17:50	17:50~18:30 SP2 イブニングセミナー 『中津蘭学のバイオニア精神と私の歩み』 演者:川島眞人					
		18:30~20:30 懇親会				
	20:30					



## プログラム

第1日 6月28日(金) 第1会場(ヴィラスイート)

開会式	9:30 ~ 9:45	
SP1 特別企画『新学会の展望』	9:45 ~ 10:45	抄録集ページ p.25
座長：川畠 真之（川畠整形外科病院）		
SP1-1『新学会—日本高気圧潜水医学会—の展望』 柳下 和慶（日本高気圧潜水医学会 理事）		
SP1-2『新学会の役割と今後の学術展望』 四ノ宮成祥（日本高気圧潜水医学会 理事）		
SL1 特別講演1	10:50 ~ 11:50	p.19
座長：小柳津卓哉（東京医科歯科大学病院 高気圧治療部）		
SL1『Traumatic Ischemias and the Roles of Hyperbaric Oxygen Focusing on Crush Injuries & A Physiological Model for DCS Presentations』 Michael B Strauss, MD		
LS1 ランチョンセミナー 1	12:00 ~ 13:00	p.28
（共催：オリエンタル白石株式会社）		
座長：田村 裕昭（川畠整形外科病院）		
LS1『ニューマチックケーソン工法の現在・過去・未来』 加藤 茂樹、堀江 正樹、根岸 直人（オリエンタル白石株式会社）		
会員総会	13:05 ~ 13:25	
SY1 シンポジウム 1『潜水・潜函の安全管理』	13:30 ~ 14:45	p.38
座長：鈴木 信哉（亀田総合病院）・小島 泰史（東京医科歯科大学）		
SY1-1『潜水事故の傾向』 野澤 徹（一般財団法人日本海洋レジャー安全・振興協会（DAN JAPAN））		
SY1-2『潜水後急性期めまいの診療フローチャート』 和田孝次郎（防衛医科大学校 脳神経外科学講座）		
SY1-3『高気圧作業関連疾患の予防及び対処時に求められる産業医・専門医の関与』 鈴木 信哉（亀田総合病院）		
SY1-4『海上自衛隊潜水医官の教育と育成』 三好 優香（海上自衛隊 潜水医学実験隊）		
SY1-5『潜水業務における安全衛生管理の現状と課題』 望月 徹（東京慈恵会医科大学 環境保健医学講座）		

**SL2 特別講演 2** 14 : 50 ~ 15 : 35 p.21

---

座長：柳下 和慶（東京医科歯科大学）

SL2 『The Future of Undersea and Hyperbaric Medicine in the US: Survey Results』  
John S Peters, FACHE (Undersea and Hyperbaric Medical Society, Executive Director)

**OPI 一般演題 基礎研究** 15 : 40 ~ 16 : 40 p.47

---

座長：森松 嘉孝（久留米大学）・藤田 基（山口大学）

OPI-1 『高気圧酸素治療は骨折治癒過程早期に作用し、骨癒合を促進する』  
小柳津卓哉（東京医科歯科大学病院 高気圧治療部）

OPI-2 『動物頭部外傷CCIモデルにおける高気圧水素治療の効果』  
大塚 陽平（自衛隊中央病院 脳神経外科）

OPI-3 『気液界面での物質輸送を考慮した単一気泡運動の数値シミュレーション』  
川島 久宜（群馬大学）

OPI-4 『高圧容器を用いた減圧にともなう気泡運動』  
新里 みふ（群馬大学大学院）

OPI-5 『養殖場でyo-yo潜水を行う職業性潜水士の生体マーカー評価』  
森松 嘉孝（久留米大学医学部 環境医学講座）

OPI-6 『マクロファージの炎症性応答に対するHBOの効果』  
河野 圭将（独立行政法人地域医療機能推進機構 南海医療センター）

OPI-7 『HBOの骨髄炎患者に対する治療効果の客観的指標の探索』  
都留 雅史（九州医療科学大学 生命医科学部）

**SY2 シンポジウム 2 技術部会企画** 16 : 45 ~ 17 : 45 p.41

---

『第1種装置複数台所有に伴うメリットデメリット』

座長：太田 雅文（宇治徳洲会病院）・灘吉 進也（戸畑共立病院）

SY2-1 『3台運用施設』  
横溝 伸也（飯塚病院 臨床工学部）

SY2-2 『4台運用施設』  
山田 小綸（戸畑共立病院 臨床工学科）

SY2-3 『4台運用施設』  
金井 克好（牧田総合病院 CE部）

SY2-4 『6台運用施設』  
小川 駿（札幌麻生脳神経外科病院 臨床工学科）

**SP2 イブニングセミナー** 17 : 50 ~ 18 : 30 p.31

---

『中津蘭学のパイオニア精神と私の歩み』  
川畷 真人（社会医療法人 玄真堂）

**第1日 6月28日(金) 第2会場(アンジェロ)**

**OP2 一般演題 救急** 13:30～14:10 p.51

---

座長：柳川 洋一（順天堂大学医学部附属静岡病院）・三浦 邦久（東京曳舟病院）

OP2-1 『内視鏡検査中に発症した空気塞栓症の1例』

清水 徹郎（南部徳洲会病院 高気圧治療部）

OP2-2 『妊婦に対する高気圧酸素療法の現状』

柳川 洋一（順天堂大学医学部附属静岡病院 救急診療科）

OP2-3 『当院におけるCO中毒症例の検討』

恩田 秀賢（日本医科大学付属病院 救命救急科）

OP2-4 『急性一酸化炭素中毒時の血中一酸化炭素ヘモグロビンによる評価について』

大橋 正樹（医療法人鉄蕉会亀田総合病院 救命救急科）

OP2-5 『雪崩による完全埋没後に右肺優位の肺水腫を呈し、浸漬性肺水腫類似の病態を疑った2例』

杉本 龍（社会医療法人財団慈泉会 相澤病院 救命救急センター）

**OP3 一般演題 スポーツ外傷** 15:55～16:35 p.54

---

座長：笹原 潤（帝京大学スポーツ医科学クリニック）

星野 傑（東京医科歯科大学病院）

OP3-1 『当院におけるプロサッカーチームに対する高気圧酸素治療の現状』

平畑 佑輔（帝京大学スポーツ医科学センター）

OP3-2 『当院におけるスポーツ外傷に対する高気圧酸素治療』

星野 傑（東京医科歯科大学病院 高気圧治療部）

OP3-3 『関節損傷を伴うスポーツ外傷に高気圧酸素治療を行い早期にスポーツ復帰を果たした4例』

前原 博樹（琉球大学病院 高気圧酸素治療部）

OP3-4 『脳振盪に対する高気圧酸素治療の安全性について』

笹原 潤（帝京大学スポーツ医科学クリニック）

OP3-5 『スポーツ専用高気圧酸素治療の現状と有害事象への対応』

梅木 秀一（帝京大学スポーツ医科学クリニック）

座長：清水 徹郎（南部徳洲会病院）・玉木 英樹（玉木病院）

OP4-1 『広域航空搬送を要した脳型減圧症の1例』  
清水 徹郎（南部徳洲会病院）

OP4-2 『人工呼吸管理下の再圧治療』  
石山 純三（静岡済生会総合病院 脳神経外科）

OP4-3 『ニューマチックケーソン工法における高気圧空間からの退避装置の開発』  
福田 純平（オリエンタル白石株式会社）

OP4-4 『潜水士のCO中毒防止対策（吸入気体のCO濃度測定）』  
錦織 秀治（久留米大学医学部 環境医学講座）

OP4-5 『飽和潜水訓練における感染予防対策』  
杉浦 崇夫（海上自衛隊 潜水医学実験隊）

OP4-6 『我が国が植民地時代の大韓民国に伝承した送気式潜水漁の歴史と今』  
森松 嘉孝（久留米大学 環境医学講座）

**第2日 6月29日(土) 第1会場(ヴィラスイート)**

**SY3 シンポジウム3『今後の診療報酬改定を見据えて』 9:00～10:00 p.43**

---

座長：柳下 和慶（東京医科歯科大学）・阪本雄一郎（佐賀大学）

SY3-1『診療報酬点数改定における点数増額と適応疾患拡大に向けて』  
柳下 和慶（保険情報委員会委員長・東京医科歯科大学病院 高気圧治療部）

SY3-2『【データベース委員会】HBO施設アンケート調査と診療報酬改定への反映』  
丹羽 康江（東京医科歯科大学病院 高気圧治療部）

SY3-3『診療報酬改定をめぐって』  
大江与喜子（樹徳会 上ヶ原病院）

SY3-4『佐賀大学高度救命救急センターにおける高気圧酸素療法』  
阪本雄一郎（佐賀大学 高度救命救急センター）

**SL3 特別講演3 10:05～10:35 p.23**

---

座長：四ノ宮成祥（国立感染症研究所 客員研究員/元防衛医科大学校長）

SL3『The History of Research Related Hyperbaric and Diving Medicine at University of Wisconsin-Madison』  
Aleksy Sobakin, DVM, PhD (University of Wisconsin-Madison)

**OP5 一般演題 高気圧酸素治療の臨床① 10:40～11:30 p.60**

---

座長：土居 浩（牧田総合病院）・陣上 直人（京都大学医学部附属病院）

OP5-1『遅発性低酸素白質脳症の回復過程を示唆するもじもじ徴候（fidgeting）』  
陣上 直人（京都大学大学院医学研究科 初期診療・救急医学）

OP5-2『悪性消化管狭窄に対するHBOの効果の検討』  
室屋 大輔（戸畑共立病院）

OP5-3『長期経過を追えた術後高気圧酸素治療を併用した腎膿瘍の検討』  
柳田 和己（江東病院 泌尿器科）

OP5-4『未就学児に対する高気圧酸素治療における当院の現状と工夫について』  
小野寺慧洲（北海道大学病院 麻酔科）

OP5-5『中枢性神経感染症に対する高気圧酸素治療（HBO）の検討』  
土居 浩（牧田総合病院 脳神経外科）

OP5-6『高気圧治療と感染に関する一考察 その3』  
吉田 泰行（威風会栗山中央病院 耳鼻咽喉科）

**PL1 会長講演 11:35～12:05 p.34**

---

PL1『中津における高気圧・潜水医学のあゆみ』  
川島 眞之（社会医療法人玄真堂 川島整形外科病院）

LS2 ランチョンセミナー 2 12:10～13:10 p.30

---

共催：日本サルヴェージ株式会社

座長：嶋田 和人（筑波航研）

LS2 『海難への対応 昔と今』

高瀬 隆雄（日本サルヴェージ株式会社）

OP6 一般演題 高気圧酸素治療の臨床② 13:15～14:05 p.63

---

座長：高木 元（日本医科大学）・原田 正公（熊本市市民病院）

OP6-1 『骨接合術後より発症した上腕骨慢性骨髄炎に対して高気圧酸素療法を用いた治療経験』  
仁丹 克則（医療法人徳洲会 松原徳洲会病院）

OP6-2 『糖尿病足病変の手術症例に対する高気圧酸素治療において四肢切断に影響を及ぼす要因』  
野田慎之介（社会医療法人令和会 熊本リハビリテーション病院 臨床工学部臨床工学科）

OP6-3 『血液透析患者に対し高気圧酸素療法、レオカーナを併用し足潰瘍治療を行った一例』  
得能 香菜（大宮中央総合病院 形成外科）

OP6-4 『当院の過去3年間における下肢末梢循環障害に対する高気圧酸素治療の現状』  
菅原 元（豊田厚生病院 外科）

OP6-5 『コレステリン結晶塞栓症に対して末梢血管治療と高気圧酸素治療を行った1症例』  
小竹 亮輔（地方独立行政法人静岡県立病院機構 静岡県立総合病院 検査技術・臨床工学科）

OP6-6 『凍傷に対し高気圧酸素療法を用いた1症例』  
野堀 耕佑（公立陶生病院 臨床工学部）

SY4 シンポジウム4 技術部会企画 14:15～15:15 p.45

---

『高気圧酸素治療の今までと次世代からの提言』

座長：折原 和広（墨東病院）・金田 智子（群馬大学医学部附属病院）

SY4-1 『高気圧酸素治療に求められる看護師』  
松田健太郎（上ヶ原病院）

SY4-2 『30代の臨床工学技士が考える高気圧酸素治療の未来』  
寺田 直正（独立行政法人労働者健康安全機構 横浜労災病院 臨床工学部）

SY4-3 『これからの高気圧酸素治療を考える～エビデンス構築に向けたオペレーターの役割～』  
桜沢 貴俊（東京医科歯科大学病院 MEセンター）

SY4-4 『未来に向けた安全対策の1提案』  
廣谷 暢子（亀田総合病院）

閉会式 15:15

---

市民公開講座 15:40～16:50 p.36

---

司会：川畠 真人（社会医療法人玄真堂）

『圧力と栄養と健康』

関 邦博（ポリビア高所病理研究所・ポリビア不老長寿研究所）

**第2日 6月29日(土) 第2会場(アンジェロ)**

**OP7 一般演題 治療装置・運用** 9:00～10:00 p.66

---

座長：堂籠 博・濱田 倫朗（熊本リハビリテーション病院）

- OP7-1 『高気圧酸素治療業務導入を経験して』  
清水 啓雄（社会医療法人北楡会 札幌北楡病院）
- OP7-2 『当院における高気圧酸素治療を導入に至る準備状況』  
福澤梨香子（新古賀病院 臨床工学課）
- OP7-3 『高気圧酸素治療装置の更新に関する報告』  
後藤 幸弘（IMSグループ 横浜新都市脳神経外科病院 臨床工学科）
- OP7-4 『当院における高気圧酸素治療の導入後約10年間の現状と課題』  
齋藤 友孝（地方独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立総合病院 検査技術・臨床工学室）
- OP7-5 『アンケート調査から見える高気圧酸素療法の有効性』  
亀山沙矢香（琉球大学病院 看護部）
- OP7-6 『高気圧酸素療法導入時の看護師の役割』  
小堀 達哉（大宮中央総合病院 看護部）
- OP7-7 『持ち込み禁止品を持ち込んだ一事例』  
安藤 誠（社会医療法人北楡会 札幌北楡病院）

**OP8 一般演題 教育・その他** 10:40～11:30 p.70

---

座長：中島 正一（嶋田病院）・右田 平八（九州医療科学大学）

- OP8-1 『当院における高気圧酸素療法の教育体制』  
西山 和芳（JA愛知厚生連 豊田厚生病院 臨床工学室）
- OP8-2 『当院で初めて手動操作訓練を実施して』  
冠崎 大毅（医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院 臨床工学科）
- OP8-3 『当院における高気圧酸素治療教育に対する取り組み』  
南谷 克明（旭川医科大学病院 診療技術部 臨床工学技術部門）
- OP8-4 『高気圧酸素治療室での患者対応力向上に向けた取り組み』  
新家 和樹（医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院）
- OP8-5 『突発性難聴患者に対するコミュニケーションツール活用の一報』  
葛西 千春（亀田総合病院 ME室）
- OP8-6 『第1種高気圧酸素治療装置に持ち込み可能な外用薬～フローチャートの検討～』  
甲斐雄太郎（社会医療法人共愛会 戸畑共立病院 臨床工学科）

座長：高倉 照彦（亀田総合病院）・南谷 克明（旭川医科大学病院）

OP9-1 『COVID-19を経ての高気圧酸素治療室における感染対策』  
向畑 恭子（医療法人徳洲会 南部徳洲会病院 臨床工学部）

OP9-2 『第1種高気圧酸素治療装置の換気について』  
増田 徹（社会医療法人共愛会 戸畑共立病院 臨床工学科）

OP9-3 『当院における高気圧酸素治療を中止、中断した症例の検討』  
土手 智敬（済生会松山病院 CE部）

OP9-4 『耳抜き不良による治療の中止を防ぐための取り組み』  
谷川 祐樹（JA愛知厚生連 豊田厚生病院 臨床工学室）

OP9-5 『気管内チューブのカフ内への水封方法に関する検討』  
桜沢 貴俊（東京医科歯科大学病院 MEセンター）

OP9-6 『高気圧環境下での気管チューブ管理におけるカフ圧管理方法とカフ形状の影響』  
出牛 雅也（東京医科歯科大学病院 MEセンター）

## 演者略歴

### SL1 特別公演1

『Traumatic Ischemias and the Roles of Hyperbaric Oxygen Focusing on Crush Injuries & A Physiological Model for DCS Presentations』

**Michael B. Strauss, MD**

FACS, FAAOS, AOFAS, FHM



Michael Strauss graduated from Stanford University in 1962 and received his medical degree from the Oregon Health and Sciences University in 1965. After internship at the LA County-USC Medical Center and a lag year's surgical residency at the Mount Sinai Medical Center in New York City, he began active duty in the US Navy with Submarine Medical Officer's School in New London, CT and the Navy School of Navy Diving & Salvage School in Washington DC. He then served on a nuclear submarine, with Navy divers in South East Asia, and the UDT-SEAL teams in Coronado, California while becoming a certified US Navy Undersea Medical Officer. In 1961 he became an orthopaedic surgery resident at the Naval Medical Center, San Diego, CA. He then served as an orthopaedic surgeon at the Navy Hospital, Newport, RI and became Board Certified in 1968.

In 1977 he joined Dr. George B. Hart at the Memorial Care Long Beach Medical Center (LBMC) Long Beach, CA while remaining in the Navy Reserve UDT and SEAL Teams in Coronado, CA. He focused his practice on orthopaedic applications of hyperbaric oxygen and also served as the medical center's orthopaedic trauma service coordinator. While doing such he became an associate professor of orthopaedic surgery at the Harbor/UCLA Medical Center in Torrance, California. In 2000 after completing a 32-year affiliation with Navy he began focusing his surgical practice on the management of problem wounds and became the Orthopaedic Consultant for the Long Beach Veterans Affairs Medical Center wound program and a clinical professor of orthopaedic surgery at the University of California Irvine School of Medicine.

Dr. Strauss has generated over 200 papers, posters, book chapters and exhibits plus two text books (Diving Science,,Revisited and MasterMinding Wounds--2nd edition in preparation). In addition, he has contributed to every edition of the UHMS's Hyperbaric Oxygen Therapy Committee Report (now in its 15th edition) and 7-chapters for the upcoming 5th edition of Hyperbaric Medicine Practice. In 2018 Dr. Strauss received the inaugural Lifetime Achievement Award from the Best Publishing Company and in 2023 the Undersea & Hyperbaric Medical Society's Behnke Award, the premier award of the society.

Titles that Dr. Strauss hold include: 1) Medical Director [retired] of Hyperbaric Medicine, LBMC, 2) Interim Medical Director of the Wound Care Program also at the LBMC, 3) Chairman of the LBMC Orthopaedic Department, 4) Executive Committee member of the UHMS, 5) Clinical Professor of Orthopaedic Surgery, University of California Irvine School of Medicine, Irvine, California and 6) Consultant for the PACT (Prevention-Amputation, Care and Treatment) Diabetic Wound Clinic at the Veterans Affairs Medical Center, Long Beach, California.

9 MAY 2024

## 演者略歴

### SL2 特別公演2

『The Future of Undersea and Hyperbaric Medicine in the US: Survey Results』

## JOHN S. PETERS, FACHE

12900 Calais Circle, Palm Beach Gardens, FL33410, C561-271-3276  
JS\_PETERS@COMCAST.NET



### PROFESSIONAL EXPERIENCE

- Undersea and Hyperbaric Medical Society, Inc.  
6/2014 to present Executive Director
- WCHMEDIA Group, Inc. 10/2008 to present President
- American Baromedical Corporation 1/2010 to 5/2013 President
- Diversified Clinical Services 12/1998 to 10/2008  
2/2000 to 10/2008 Regional / Area Vice President  
12/1998-2/2001 Wound Care and Hyperbaric Medicine Operations Manager
- Intracoastal Health System – St. Mary’s Medical Center  
6/1998-12/1998 Certified Hyperbaric Technologist
- HCA Tallahassee Community Hospital 3/1991-5/1998  
2/1992-5/1998 Senior Certified Hyperbaric Technologist

### EDUCATION

MBA - Management w/ Distinction New York Institute of Technology, NY 2001  
BS - Biology/Chemistry Florida State University, Tallahassee, FL 1998

### PROFESSIONAL CERTIFICATIONS

Board Certified Healthcare Executive

### PROFESSIONAL COMMISSIONS

Notary Public – State of Florida

### PROFESSIONAL AWARDS

#### ACHE Service Award

In recognition of the commitment of volunteer service to the healthcare management profession, the chapter and ACHE–2014

#### ACHE Regent's Award

Presented in recognition of significant contributions toward the achievement of the goals of the American College of Healthcare Executives and the advancement of healthcare management excellence - 2012

#### Special Services Award

Presented in appreciation of his outstanding support to better the UHMS Gulf Coast Chapter – 2011

### PROFESSIONAL MEMBERSHIPS

- Member of the Undersea and Hyperbaric Medical Society
- Member of the European Underwater Baromedical Society
- Fellow of the American College of Healthcare Executives, ACHE 2007+
- Member of the American College of Healthcare Executives, 2001

### PUBLISHED

- Feldmeier J, Kirby J, Gelly H, Robins M, Peters J, Gruhn P, Pal S. Controlled CMS Data Demonstrates a Cost and Clinical Advantage for Hyperbaric Oxygen for Radiation Cystitis. Undersea Hyperbaric Medicine. 2024 Second Quarter; 51(2):145-157.
- Feldmeier, J., Shah, J, Peters, J. When It’s Better to be Under More Pressure. San Antonio Medicine. 15 Jan 2023; 76(1): 18-21. Bexar County Medical Society, San Antonio, TX.
- Peters, JS. Accreditation: The Key to Continuous Performance Improvement. Proceedings of the 4th Conference of APUHMS in Nakatsu, Japan. 1 Oct 2020.
- Kirby, J., Snyder, J., Schuerer, D., Peters, J., Bochicchio, G. Essentials of Hyperbaric Oxygen Therapy: 2019 Review. Missouri Medicine Journal. May-Jun 2019;116(3):176-179.
- Peters, J.P. The Role of Professional Medical Societies' Subspecialty Accreditation in Improving Patient Safety & Effectiveness. Chapter 6.11. Workman, W.T., Wood, S. Hyperbaric Facility Safety, A Practical Guide, 2nd ed. 2020. Best Publishing Company. North Palm Beach, FL.
- Peters, J.P., Filgo, S. Make or Buy: A Critical Look at Outsourcing. Chapter 4. Larson-Loehr, V., et al, Hyperbaric Nursing and Wound Care Textbook. 2011. Best Publishing Company. North Palm Beach, FL.
- Peters, JS. Make or Buy? A Critical Look at Insourcing and Outsourcing. Wound Care & Hyperbaric Magazine Q1 2010; 1(1):19-26. Best Publishing Company. North Palm Beach, FL.
- Williams JL, Brooks HL, Steinmetz RL, Peters JS, Sunbye, SD. Central Retinal Artery Occlusion – A continuing look at hyperbaric oxygen therapy as a treatment for this vascular event. Journal of Undersea and Hyperbaric Medicine. Supplement to Vol 22, p79.1995. Undersea Hyperbaric Medical Society, Kensington, MD.

## 演者略歴

### SL3 特別公演3

『The History of Research Related Hyperbaric and Diving  
Medicine at University of Wisconsin-Madison』

Aleksey S. Sobakin, DVM, PhD



#### PERSONAL DATA

Department of Pediatrics,

University of Wisconsin, School of medicine and Public Health

Office Address: Biotron Laboratories, 2115 Observatory Drive, Madison, WI 53706

Office Telephone: 608-698-6450, Fax: 608-262-7871, E-mail: sobakin@wisc.edu

#### EDUCATION

1987 B.Sc. Biology, Chemistry Saratov State Agricultural University, USSR.

1990 D.V.M, Large Animals, School of Veterinary Medicine, Saratov, USSR.

1994 Ph.D. Veterinary Microbiology, Virology and Toxicology, All-Russian Research Institute  
of Veterinarian Virology and Microbiology, Pokrov, Russia,

#### PRESENT APPOINTMENT / POSITION

2017 – 2022 Associate Scientist, University of Wisconsin-Madison, School of Medicine &  
Public Health, Department of Pediatrics, Madison, WI

#### PAST APPOINTMENT / POSITIONS

2013 – 2017 Assistant Scientist, University of Wisconsin-Madison, School of Medicine &  
Public Health, Department of Pediatrics, Madison, WI

2008 – 2013 Associate Researcher, University of Wisconsin-Madison, School of Medicine  
&Public Health, Department of Pediatrics, Madison, WI

2005 – 2008 Assistant Researcher, University of Wisconsin-Madison, School of Veterinary  
Medicine, Department of Surgical Science, Madison, WI

2000 – 2005 Dairy Management Specialist, Mauneshia River Dairy, Sun Prairie, WI

1999 – 2000 Post - Doctoral Trainee, University of Wisconsin-River Falls, River Falls, WI

1994 – 1999 Assistant Scientist & Instructor, Saratov State Academy of Veterinary Medicine  
and Bio-Technology, Department of Veterinary Microbiology and Virology,  
Saratov, Russia

## 演者略歴

### SP1-1 特別企画

『新学会—日本高気圧潜水医学会—の展望』

柳下 和慶 (やぎした かずよし)

生年月日 昭和41年4月2日 満58歳



### 学歴・職歴

1991年 東京医科歯科大学 医学部 医学科卒業  
2003年 東京医科歯科大学 医学博士  
1991年 東京医科歯科大学 整形外科 入局  
1999年 University of California, Los Angeles, Department of Orthopaedic Surgery  
2000年 Florida Orthopaedic Institute, Tampa General Hospital  
2000年 東京医科歯科大学医学部附属病院整形外科 医員  
2002年 同上 整形外科 助手  
2005年 同上 高気圧治療部 講師  
2008年 同上 高気圧治療部 部長  
2013年 同上 准教授  
2014年 東京医科歯科大学 スポーツサイエンス機構 スポーツ医歯学診療センター長 (兼任)  
2022年 7月～現在  
東京医科歯科大学 統合教育機構教養教育部門 教授  
東京医科歯科大学病院 高気圧治療部 部長 (兼任)  
東京医科歯科大学 スポーツサイエンス機構  
スポーツ医歯学診療センター長/スポーツサイエンスセンター長 (兼任)

### 資格・免許

日本整形外科学会専門医・認定スポーツ医  
日本高気圧環境・潜水医学会認定高気圧酸素治療専門医  
日本体育協会公認スポーツドクター  
日本障がい者スポーツ協会公認 障がい者スポーツ医  
日本医師会認定産業医

### 学会理事・評議員・委員等

日本高気圧環境・潜水医学会 代表理事  
日本スポーツ整形外科学会 代議員  
日本臨床スポーツ医学会 代議員  
日本膝関節学会 評議員  
日本スケート連盟 理事 医事委員会委員長  
日本アンチ・ドーピング機構 学術委員会委員  
日本オリンピック委員会 強化スタッフ

### オリンピック、パラリンピック、JOC派遣関連活動

2014年 2月 ソチ冬季オリンピック マルチサポートハウス帯同医師  
2016年 9月 第5回アジアビーチゲームズ 帯同医師 (JOC派遣)  
2020年10月 東京2020オリンピック・パラリンピック大会 選手村総合診療所 クリニカルチーフ  
2022年 2月 北京オリンピック日本選手団 (スケート・スピードスケート)

### 学会賞

2003年 7月 日本整形外科スポーツ医学会 優秀論文賞  
2006年11月 日本高気圧環境・潜水医学会学術総会 優秀賞

## 演者略歴

### SP1-2 特別企画

『新学会の役割と今後の学術展望』

## 四ノ宮成祥 (しのみや なりよし)



### 職歴

- 1983年 3月 防衛医科大学校医学教育部医学科卒業
- 1983年 3月 海上自衛官に任官 (1993年6月まで医官として勤務)
- 1993年 7月 防衛医科大学校生物学科目助教授
- 1997年 4月 同微生物学講座助教授
- 2000年 2月 英国Liverpool School of Tropical Medicine, Diploma Tropical Medicine & Hygiene Course (5月修了)
- 2002年 7月 米国Van Andel Research Institute招聘研究員 (2004年7月まで)
- 2007年 4月 防衛医科大学校分子生体制御学講座教授
- 2011年 4月 同動物実験施設長 (兼務)
- 2013年 4月 同高等看護学院長 (兼務)
- 2016年 4月 同防衛医学研究センター長 (兼務)
- 2021年 1月 防衛医科大学校長 (2024年3月まで)
- 2024年 5月 国立感染症研究所客員研究員 現在に至る

### 専門研究領域

微生物・免疫学、分子腫瘍学、潜水・高圧医学、バイオセキュリティ

### 委員等

- 2009年 4月 文部科学省安全・安心科学技術委員会委員 (2013年3月まで)
- 2011年11月 日本学術会議特任連携会員 (科学・技術のデュアルユース問題に関する検討委員会幹事) (2012年9月まで)
- 2012年 4月 独立行政法人科学技術振興機構 (JST) 研究開発戦略センター (CRDS) 特任フェロー (2013年3月まで)
- 2013年 6月 日本臨床高気圧酸素・潜水医学会副代表理事 (2024年3月まで)
- 2015年 4月 日本ヒト細胞学会理事長 (2023年8月まで)
- 2019年 6月 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 社会技術研究開発センター (RISTEX) 「ゲノム倫理」研究会メンバー
- 2020年 5月 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 社会技術研究開発センター (RISTEX) 「科学技術の倫理的・法制度的・社会的課題 (ELSI) への包括的実践研究開発プログラム」プログラムアドバイザー

### 編著書・訳書

- 『バイオテロと生物戦争』(へるす出版 2011)
- 『生命科学とバイオセキュリティ デュアルユース・ジレンマとその対応』(東信堂 2013)
- 『Regulation of Signal Transduction in Human Cell Research』(Springer 2018)
- 『Hyperbaric Oxygenation Therapy』(Springer 2019)
- 『すぐに分かるCBRN事態対処 Q&A』(イカロス出版 2020)
- 『合成生物学は社会に何をもたらすか』(専修大学出版局 2022) など

## 演者略歴

### LS1 ランチョンセミナー1

『ニューマチックケーソン工法の現在・過去・未来』

加藤 茂樹 (かとう しげき)

生年月日：1968年3月12日

#### 学歴

1991年3月 名城大学理工学部土木工学科 卒業

#### 職歴

1991年 株式会社 白石へ入社 名古屋支店工事部へ配属  
2007-2022年 会社の合併に伴い、オリエンタル白石株式会社へ  
名古屋支店施工・技術部へ配属 その後、福岡支店（現九州支店）、  
大阪支店、東京支店の工事部にて橋梁工事に従事  
2022年現在 オリエンタル白石株式会社 土木事業本部工事部長



堀江 正樹 (ほりえ まさき)

生年月日：1983年1月29日

#### 学歴

2006年3月 鈴鹿医療科学大学医用工学部臨床工学科 卒業  
2008年3月 筑波大学大学院人間総合科学研究科フロンティア医科学  
専攻 修了  
2011年3月 筑波大学大学院人間総合科学研究科スポーツ医学専攻博  
士課程 修了

#### 職歴

2011-2013年 東京医科歯科大学医学部附属病院高気圧治療部 博士特別研究員  
2013-2016年 日本学術振興会特別研究員PD / 筑波大学医学医療系  
2016年-現在 オリエンタル白石株式会社入社 本社技術本部配属  
入社以来、ケーソン工法の技術開発、安全衛生管理業務等に従事



根岸 直人 (ねぎし なおと)

生年月日：1993年8月29日

#### 学歴

2016年3月 千葉工業大学 未来ロボティクス学科 卒業  
2018年3月 千葉工業大学大学院工学研究科未来ロボティクス専攻卒  
業 修了

#### 職歴

2018年現在 オリエンタル白石株式会社入社 本社技術本部配属  
入社以来、ケーソンショベル等、機電設備の技術開発に従事



## 演者略歴

### LS2 ランチョンセミナー2

『海難への対応 昔と今』

高瀬 隆雄 (たかせ たかお)

1982年 神戸商船大学航海科 (現 神戸大学海洋政策科学部) 卒業  
同年 日本サルヴェージ株式会社入社、技師として勤務  
2011年 門司支店海務工務部長兼技師室長  
2018年 取締役門司副支店長 技術開発部長  
2020年 取締役人事部長 技術開発部長  
2021年 取締役人事部長 安全衛生部長  
2022年 顧問に就任

## 演者略歴

### PL1 会長講演

『中津における高気圧・潜水医学のあゆみ』

川嶌 眞之 (かわしま まさゆき)

#### 学歴

1990年 3月 大分県立中津南高等学校卒業  
1997年 3月 大分医科大学医学部医学科卒業  
2009年 3月 大分大学医学部大学院博士課程卒業

#### 職歴

1997年 4月 千葉県救急医療センター集中治療科  
1998年 4月 大分医科大学整形外科入局  
2004年 4月 マサチューセッツ総合病院 (ボストン) 整形外科リサーチフェロー  
2006年 7月 川嶌整形外科病院入職  
2014年 4月 現職

#### 現在

川嶌整形外科病院 副理事長・院長  
大分大学臨床教授 (地域医療)  
医学博士  
日本整形外科学会専門医  
日本リウマチ学会専門医  
日本高気圧・潜水医学会 高気圧医学専門医  
インфекションコントロールドクター (ICD)  
日本高気圧・潜水医学会 (評議員)  
日本骨・関節感染症学会 (評議員)  
日本マイクロ・ナノバブル学会 (評議員)  
九州高気圧環境医学会 (世話人)  
大分県臨床整形外科医会 (理事)  
大分救急医学会 (評議員)  
大分県病院協会 (理事)  
中津市医師会 (理事)



## 演者略歴

### SP2 イブニングセミナー

『中津蘭学のパイオニア精神と私の歩み』

## 川 眞人 (かわしま ひと)

1944年 中津市船場町で誕生  
1963年 県立中津北高等学校卒業  
1969年 東京医科歯科大学医学部卒業  
1970年 東京医科歯科大学難治疾患研究所専攻生  
1976年 医学博士(東京医科歯科大学)  
1969年 虎ノ門病院整形外科 専修医  
1972年 九州労災病院整形外科 医員、1979～副部長  
1981年 川眞整形外科病院 院長、1983～川眞整形外科病院 院長  
1986年 医療法人玄真堂 川眞整形外科病院 理事長  
2009年 医療法人玄真堂 理事長・かわしまクリニック 所長  
2011年 特定医療法人玄真堂 川眞整形外科病院 理事長、2012年～社会医療法人玄真堂 理事長



### 【資格】

1983年日本整形外科学会(現在専門医)、1986年日本整形外科学会リウマチ医、1987年日本整形外科学会スポーツ医、1990年日本リハビリテーション医学会臨床認定医、1990年日本医師会認定健康スポーツ医、1993年日本医師会認定産業医、1998年日本リウマチ財団登録医、2007年日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医、2010年日本高気圧・潜水医学会専門医

### 【学会および社会における活動等】

大分大学医学部 臨床教授、大分大学医学部非常勤講師(1988～)、高神大学(釜山)医学部客員教授、中国河南医科大学骨科研究所名誉所長・教授、中国南召県骨科医院名誉院長、北京昌平聖濟骨傷医院名誉院長、河北燕达病院客員教授、中国海洋科学技術センター名誉主任、新日米潜水・宇宙技術専門家会議委員、国際潜水・高気圧環境医学会会員名誉会員(2015～)、アジア太平洋潜水・高気圧環境医学会理事長(2017～)、国際整形災害外科学会名誉会員、西太平洋整形外科学会会員、日本高気圧潜水医学会名誉功労会員(2017～)、一般社団法人日本潜水協会顧問、日本骨・関節感染症学会名誉会員(2010～)、日本職業・災害医学会功労会員(2014～)、日本臨床整形外科学会名誉会員(2015～)、日本医史学会名誉会員(2021～)、大分県病院協会名誉会長、一般社団法人日本口腔ケア学会評議員、一般社団法人 Summer in JAPAN 理事、大分産業保健総合支援センター 産業保健相談員(2014～)、中津地方文化財協議会会長(2010～)、マンダラゲの会会長

### 【主な受賞歴】

1975年 医学書院優秀論文賞  
『減圧症と骨関節の変化』  
1999年 大分合同新聞文化賞  
2002年 国際潜水・高気圧環境医学会2002年  
チャールズ・シリング賞  
2008年 2008年度日本臨床整形外科学会 学術賞  
2008年 大分県医師会 功労賞  
2009年 大分県知事賞  
2012年 日本整形外科学会 功労賞  
2012年 UHMSインターナショナル・オーシャンアリング賞  
2012年 UHMS特別名誉会員賞  
2018年 平成30年秋の叙勲 旭日雙光章

### 【主な主催学会・会長職】

1987年 日本骨・関節感染症研究会 会長(現学会)  
1990年 第3回九州・沖縄地区高気圧環境医学懇話会 会長  
1994年 第29回日本高気圧環境医学会会長  
1996年 第9回九州・沖縄地区高気圧環境医学懇話会 会長  
2003年 第4回日本高気圧環境医学会九州地方会 会長  
2002年～2008年  
中津市医師会 会長  
2008年 第3回日米宇宙・潜水・高気圧環境医学合同学会  
主催  
2015年 第2回アジア太平洋潜水・高気圧環境医学会 主催  
2017年 第6回日本マイクロ・ナノバブル学会  
2019年 第4回アジア太平洋潜水・高気圧環境医学会 主催

### 【2000年以降の分担執筆】

今日の整形外科治療指針第4版(医学書院2000年)、経験すべき外傷・疾患88(メジカルビュー社2000年)、看護のための最新医学講座第18巻(中山書店2001年)、OS NOW(メジカルビュー社2001年)、2003'今日の治療指針(医学書院2003年)、今日の整形外科治療指針第5版(医学書院2004年)、ゴールドスタンダード整形外科(南江堂2004年)、神中整形外科学 改訂22版(南山堂2004年)、経験すべき外傷・疾患97改訂版(メジカルビュー社2006年)、運動器の診断学最新整形外科学体系(中山書店2008年)、今日の整形外科治療指針第6版(医学書院2010年)、神中整形外科学 改訂23版(南山堂2013年)、運動器スペシャリストのための整形外科外来診療の実践(中山書店2014年)、今日の整形外科治療指針第7版(医学書院2016年)、第6版高気圧酸素治療法入門(日本高気圧環境・潜水医学会2017年)、今日の治療指針2019年版(医学書院2019年)、他多数

演者略歴  
市民公開講座

『圧力と栄養と健康』

関 邦博 (せきくにひろ)

1944年8月22日香川県生まれ

理学博士 (Dr. Sc.)

ボリビア高所病理研究所、ボリビア不老長寿研究所



High Altitude Pulmonary & Pathology Institute IPPA.

Av. Copacabana, Prolongacion #55, Miraflores Bajo, La Paz, Bolivia

メール: seki822@gmail.com 電話: 070-4129-6399

Wikipedia: <https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%96%A2%E9%82%A6%E5%8D%9A>

- 1962年 観音寺第一高等学校卒業 (高校の先輩には大平正芳元総理大臣がいます)  
高校時代は、競泳選手 (バタフライ) として香川県代表として岡山国体に出場し、全国で38位になる
- 1967年3月 神奈川大学経済学部卒業
- 1970年9月 フランス国立エックス・マルセイユ大学に入学 (1974年からフランス政府の国費留学生となる)
- 1976年6月 フランス国立エックス・マルセイユ大学大学院博士課程修了 (理学博士の学位を取得)
- 1976年9月 国立研究開発法人海洋研究開発機構 (研究副主幹)
- 1990年 神奈川大学理学部生物学科准教授
- 1996年 神奈川大学理学部生物学科大学院教授
- 2009年7月 自主退職 (病気の転地療法の為)、ボリビア高所病理研究所顧問、ボリビア不老長寿研究所教授、現在に至る

現在まで著書98冊、原著論文300本以上、1972年以降、フランスや日本の国立の研究所や大学での教育、研究、社会活動に取り組み、以下のような研究成果をあげることができました。

1. 1991年6月、高圧生理学の研究で水中のノーベル賞のトライデント金賞 (イタリア国が主催する工学部門) を受賞した。 <http://www.underwateracademy.org/tridenti-1990-99/>
2. 1993年に「イルカと海に還る日」という本を講談社から出版し20万部のベストセラーとなり、この中の文章が1995年に高校の現代国語 (筑摩書房、1995年に文科省検定済) の教科書に掲載され毎年7万人の高校生が使用した。1995年から高校3年生の国語の教科書「ちくま現代文」に「ホモ・デルフィナス (イルカ人間) が、海に還る日 (19から29頁)」として掲載される。
3. 教育面では、「人間環境科学」という授業を担当し平塚キャンパスで最も履修者の多い講義にすることができました。
4. 神奈川大学設立以来、現職の教授で初めて世界最高峰の学術誌のNature誌に研究成果を掲載することができました。1998年10月29日のクマムシの研究でNature誌に掲載される (特にscientific correspondenceの部門では日本人で最初、Nature volume 395, pages853-854, 1998) <https://www.nature.com/articles/27576>
5. Nature誌に掲載した研究成果を大学発バイオベンチャー企業としてバイオバンク社 (研究担当の取締役就任) などを設立し社会に貢献した。
6. ボリビアで不老長寿の食品のコカノキの葉の実験研究をおこない研究成果として、10冊以上の学術書 (スペイン語) を出版しました。
7. その中の3冊が、2016年4月15日ボリビアのモラレス大統領が、ボリビアの科学研究成果としてローマ法王に謹呈されました。

[https://www.amazon.co.jp/s?k=seki+kunihiro+coca&\\_\\_mk\\_ja\\_JP=%E3%82%AB%E3%82%BF%E3%82%AB%E3%83%8A&crd=2D9KFAEQ5AY27&srefix=seki+kunihiro+coca%2Caps%2C170&ref=nb\\_sb\\_noss](https://www.amazon.co.jp/s?k=seki+kunihiro+coca&__mk_ja_JP=%E3%82%AB%E3%82%BF%E3%82%AB%E3%83%8A&crd=2D9KFAEQ5AY27&srefix=seki+kunihiro+coca%2Caps%2C170&ref=nb_sb_noss)

2010年10月ボリビアでの学会発表 (量子生物学的研究) : <https://zuniv.net/symposium3/sprog.html>



## 協賛お礼

第58回日本高気圧潜水医学会 学術総会を開催するにあたり、下記の企業団体をはじめとする皆様に多大なるご協力ならびにご厚情を賜りました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

第58回日本高気圧潜水医学会 学術総会

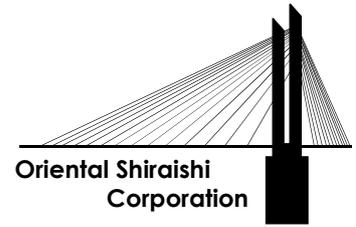
学会長 川 島 眞 之

### 協賛一覧

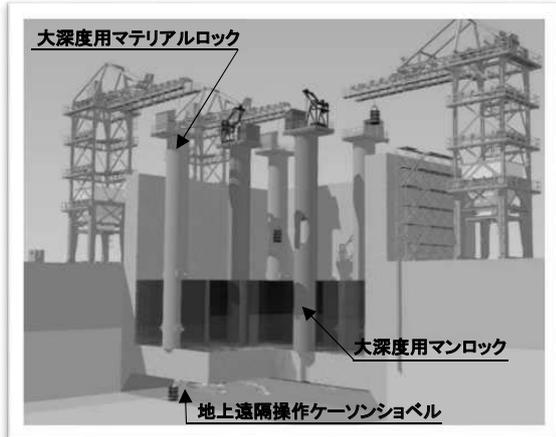
- 
- |                     |                                     |
|---------------------|-------------------------------------|
| ●旭化成ファーマ株式会社        | ●株式会社ダイプロ北部販売 中津支店                  |
| ●アステラス製薬株式会社        | ●有限会社 武宮塗装                          |
| ●アッヴィ合同会社           | ●田辺三菱製薬株式会社                         |
| ●有限会社 池田生花店         | ●中庸メディカル株式会社                        |
| ●井上化学工業株式会社         | ●東和薬品株式会社                           |
| ●岩谷産業株式会社           | ●株式会社 ナガノ                           |
| ●エア・ウォーター・メディカル株式会社 | ●株式会社 中村鐵工所                         |
| ●エーザイ株式会社           | ●株式会社 西澤                            |
| ●株式会社 エルサポート        | ●日本圧気技術協会                           |
| ●大分県医療機器協会          | ●一般財団法人 日本海洋レジャー安全・振興協会 (DAN JAPAN) |
| ●株式会社 大分みらい建設       | ●一般社団法人 日本潜水協会                      |
| ●大分みらい信用金庫 如水支店     | ●日本サルヴェージ株式会社                       |
| ●大本組                | ●日本臓器製薬株式会社                         |
| ●有限会社 岡崎建具製作所       | ●パロテックハニユウダ株式会社                     |
| ●株式会社 オフィスワタナベ      | ●株式会社 日田天領水                         |
| ●オリエンタル白石株式会社       | ●ビタカイン製薬株式会社                        |
| ●科研製薬株式会社           | ●藤川笑樂園                              |
| ●株式会社 カートピアキクチ      | ●株式会社 藤富組                           |
| ●株式会社 川原田印刷社        | ●ふるた薬局                              |
| ●川崎エンジニアリング株式会社     | ●有限会社 松下モータース                       |
| ●有限会社 ギフターインテリア     | ●株式会社 松山商会                          |
| ●九州風雲堂販売株式会社        | ●持田製薬株式会社                           |
| ●グランプラザ中津ホテル        | ●株式会社 山国商会                          |
| ●株式会社 白石総合コンサルタント   | ●株式会社 山田商会 中津支店                     |
| ●株式会社 シンヤ           | ●株式会社 LEOC                          |
| ●有限会社 末永ガラス         | (敬称略・五十音順)                          |
| ●第一三共株式会社           |                                     |

# ここにしかない技術！ あふれだす未来！

Our technology for your future!



## 大深度ニューマチックケーソン工法のさらなる安全性を求めて！



事業所一覧表

名 称	所 在 地		電 話 番 号
本 社	〒135-0061	東京都江東区豊洲五丁目6番52号	03-6220-0630
東 北 支 店	〒980-0014	宮城県仙台市青葉区本町2丁目16番10号	022-222-4691
東 京 支 店	〒135-0061	東京都江東区豊洲五丁目6番52号	03-6220-0650
大 阪 支 店	〒550-0002	大阪府大阪市西区江戸堀1丁目9番1号	06-6446-0243
九 州 支 店	〒810-0001	福岡県福岡市中央区天神4丁目2番31号	092-761-6931
北 海 道 営 業 支 店	〒060-0031	北海道札幌市中央区北一条東1-2-5	011-241-5625
北 陸 営 業 支 店	〒950-0088	新潟県新潟市中央区万代1-3-7	025-243-4737
名 古 屋 営 業 支 店	〒460-0008	愛知県名古屋市中区栄2-3-6	052-202-3002
広 島 営 業 支 店	〒730-0013	広島県広島市中区八丁堀4-4	082-502-2050
四 国 営 業 支 店	〒770-0942	徳島県徳島市昭和町1丁目11番地	088-654-9671
沖 縄 営 業 支 店	〒901-0146	沖縄県那覇市具志1-1-11	098-851-3701
営業所:	岩手 福島 茨城 栃木 千葉 群馬 埼玉 石川 神奈川 滋賀 兵庫 和歌山 鳥取 高知 山口 長崎 熊本 宮崎 鹿児島		
工場:	関東工場 滋賀工場 福岡工場 機材センター: 関東センター つくばセンター 岡山センター		

 **オリエンタル白石株式会社**

# 笑顔につながる 明日を、共に。

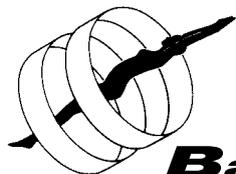


米国に本社を置く、グローバルな研究開発型のバイオ医薬品企業アッヴィ。  
私たちが目指すのは、この社会の誰もがその人らしく笑顔ある日々を過ごせること。  
そのために、多様な社員が想いをひとつに、  
新しい医薬品や治療法を生み出すことに挑み続けます。  
そして、医療分野にとどまることなく、同じ想いを持つ人々と共に、  
社会課題の解決に向けて取り組んでいきます。

abbvie

アッヴィ合同会社

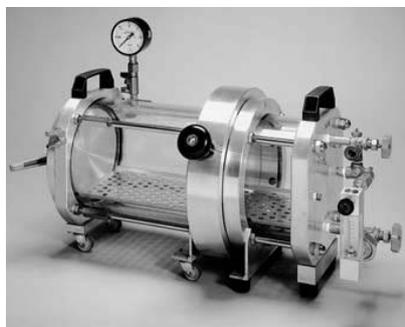
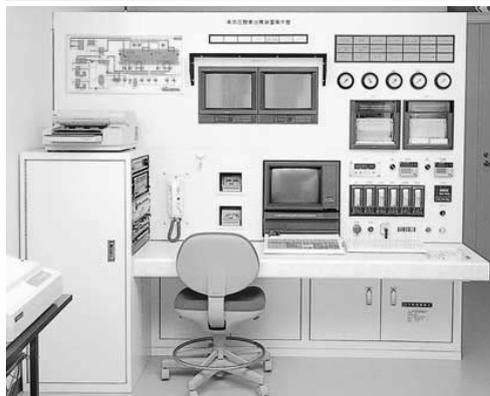
〒108-0023 東京都港区芝浦三丁目1番21号  
msb Tamachi 田町ステーションタワーS  
<https://www.abbvie.co.jp/>



# Barotec

## Barotec HYPERBARIC OXYGEN CHAMBERS

大型装置から動物実験装置まで。 **高気圧酸素治療装置**



P-5100S型

型 式	装置の 区 分	寸 法 (m)		最高治療 圧力(ATA)	収 容 人 員 (名)	備 考
		直 径	全 長			
P-1100型	第 2 種	3.2	7.7	6	10 ( 14 )	引戸式出入口扉
P-1000型シリーズ	第 2 種	2.8	6.9	6	7 ( 10 )	引戸式出入口扉
			6		5 ( 8 )	
			6		6 ( 8 )	
P-2200型シリーズ	第 2 種	2.2	4.8	$\frac{6}{3}$	3 ( 4 )	上昇旋回式出入口扉
P-2000型シリーズ	第 2 種	2.0	4.8	$\frac{6}{3}$	2 ( 3 )	上昇旋回式出入口扉
KS-202型シリーズ	第 1 種	0.74	2.17	$\frac{6}{3}$	1	
P-4200型	動物実験	0.4	0.75	6	ウサギ、ネコ程度	生体電気計測・輸液・採血等可
P-5100S型	動物実験	0.2	0.45	3	ラット、マウス程度	人工呼吸器・生体電気計測・輸液・採血等可

**BTH**  
Barotec Hanyuda

バロテックハニュウダ株式会社

〒132-0025 東京都江戸川区松江4-11-10  
Tel:(03)5662-2730 Fax:(03)5662-2724



## 唯一の国産第1種高気圧酸素治療装置 KH0-Ω

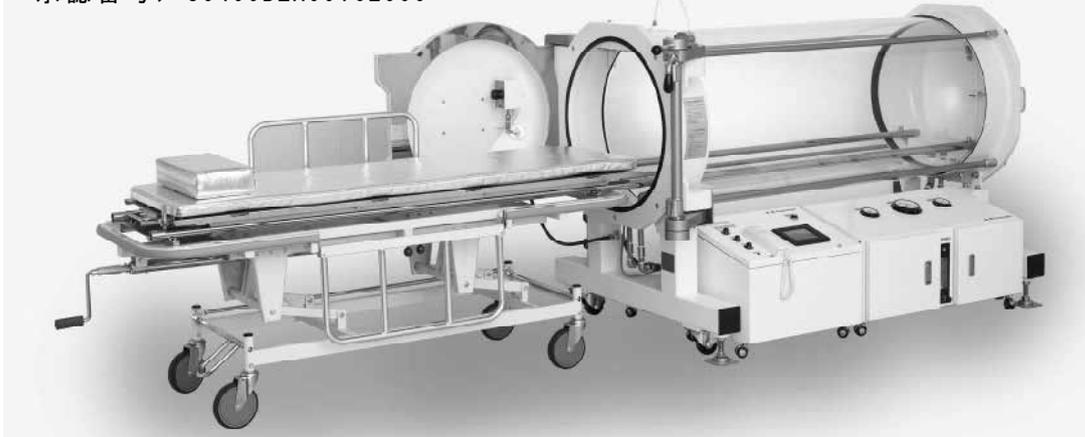
1964年の第1号機開発以来の実績を基に、コンパクト・簡素化による信頼性向上と低価格化を実現した新型機であるKH0-Ωを2022年8月より上市致しました。

### ■製造機種 KH0-Ω

装置区分*	用途	寸法(m)		最高治療圧力
		直径	全長	
第1種	治療	0.64	2.13	0.18MPa(2.8ATA)

#### ● Model : KH0-Ω

承認番号 / 30400BZX00162000

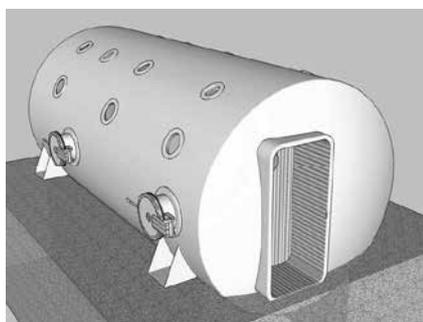


- シンプルな制御装置としながらも全自動圧力制御方式【患者様にやさしい耳抜き支援機能を標準装備】を継承
- 高強度で透明度の向上した透明アクリルチャンバーによる患者様の開放感と治療状態の見守り易さの両立
- 高解像度フルカラー液晶タッチパネルによる簡単操作【画面で治療パターンを選択するだけのワンタッチ運転】
- 酸素加圧を標準装備とし、空気加圧用機器を使用することで空気加圧(酸素マスク呼吸)の治療が可能。
- 最新のEMC基準適合品【JIS T 7321「高気圧酸素治療装置」、JIS T0601-1、JIS T0601-1-2】
- 徹底した軽量コンパクト設計【全長/全幅:2,130mm/1,100mm、本体重量:600kg:院内エレベータに搭載可能】

### ■製造機種 KH0-301B-1

装置区分*	用途	寸法(m)		最高治療圧力
		直径	全長	
第2種(8人用)	治療・小手術	2.8m	6.0m	0.49MPa

※8人用の他、4人用、14人用など多数の納入実績あり。



#### ● Model : KH0-301B-1

承認番号 / 21900BZX01259000

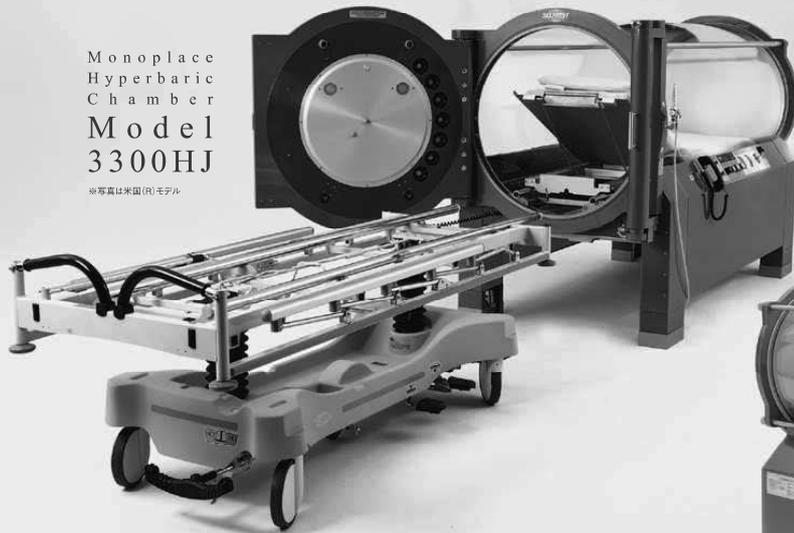
川崎エンジニアリング

本社: 〒653-0834 神戸市長田区川西通 2-4 TEL(078)612-7101/FAX(078)642-3656,URL:<http://www.khi.co.jp/corp/ke/>



Monoplace  
Hyperbaric  
Chamber  
Model  
3300HJ

※写真は米国(R)モデル



Monoplace  
Hyperbaric  
Chamber  
Model  
2800HJ



# 快適で安全な 治療の実現のために

～長年の信頼と実績のブランド～

セクリスト 高気圧酸素治療装置  
Model 3300HJ / Model 2800HJ



製造販売業者:エア・ウォーター・メディカル株式会社(埼玉県川越市南台一丁目5番地1)

セクリスト 高気圧酸素治療装置 Model 3300HJ 承認番号 22600BZX00340000 / セクリスト 高気圧酸素治療装置 Model 2800HJ 承認番号 21100BZY00607000 / 高度管理医療機器-特定保守管理医療機器(設置管理医療機器)

<https://www.awi.co.jp/ja/business/medical.html>

エア・ウォーターHP▼

地球の恵みを、社会の望みに。

 **エア・ウォーター・メディカル株式会社**

〒105-0001 東京都港区虎ノ門三丁目18番19号





## 地球にやさしいエネルギーを提供する Easy energy to the earth

---

環境問題、特に廃棄物やリサイクル、地球温暖化などが深刻化しています。  
そのため、環境負荷の軽減が喫緊の課題となっています。

当社は、「環境に配慮したエネルギー供給」を目指し、ISO14001環境マネジメントシステムの導入と管理を積極的に推進し、

この取り組みを通じて、私たちは企業の目標達成と並行して、  
地球と未来の世代のために環境活動の持続的な改善に努めて参ります。

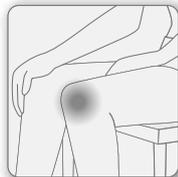


# 株式会社 山国商会

ガスと社会の新しい可能性を求めて常に躍動する

# 慢性化しやすい痛み

変形性関節症



腰痛症



頸肩腕症候群



帯状疱疹後神経痛



肩関節周囲炎



下行性疼痛抑制系賦活型  
疼痛治療剤（非オピオイド、非シクロオキシゲナーゼ阻害）

## ナイトロピン®錠4単位

ワクシニアウイルス接種家免疫炎症皮膚抽出液含有製剤 〈薬価基準収載〉



4. 効能又は効果  
帯状疱疹後神経痛、  
腰痛症、頸肩腕症候群、肩関節周囲炎、変形性関節症
6. 用法及び用量  
通常、成人には1日4錠を朝夕2回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
7. 用法及び用量に関連する注意  
〈帯状疱疹後神経痛〉  
4週間で効果の認められない場合は漫然と投薬を続けないう注意すること。
11. 副作用  
次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。
  - 11.1 重大な副作用
    - 11.1.1 肝機能障害、黄疸（いずれも頻度不明）  
AST、ALT、 $\gamma$ -GTPの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがある。
    - 11.1.2 ショック、アナフィラキシー（いずれも頻度不明）
  - 11.2 その他の副作用（一部抜粋）  
発疹、胃部不快感、悪心・嘔気、食欲不振

その他の使用上の注意等については、電子添文をご参照ください。

製造販売元

日本臓器製薬株式会社

〒541-0046 大阪市中央区平野町4丁目2番3号 ぐすりの相談窓口 ☎0120・630・093  
資料請求先：学術部 土・日・祝日を除く 9:00～17:00

2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）本剤に対し過敏症の既往歴のある患者

2023年9月作成

Office-Watanabe



地域と共に 新時代のネットワーク

株式会社 オフィスワタナベ



〒871-0162 大分県中津市永添2110-1  
TEL 0979-23-5383 FAX 0979-25-3645  
ホームページ <https://oa-watanabe.jp/>

# Iwatani

【災害対策 DISASTER MEASURES】  
LPガス非常用発電機  
補助金を使って導入しませんか？  
岩谷産業株式会社は国内34地点に  
拠点があり日本全国提案が可能です。

## 日本全国で1,000件以上の導入実績

岩谷産業は、東日本大震災を契機に、デンヨー（株）とLPガス非常用発電機を共同開発し、病院・福祉施設・工場など、これまで1,000件を超えるお客さまへ導入してきました。LPガスのリーディングカンパニーとして、お客さまのニーズに合わせて、LPガスの供給、設備の施工、メンテナンスまでトータルサービスを提供いたします。

また、非常用発電機導入の際は、補助金を活用することも可能です。補助金を活用される場合は、申請書類の作成なども岩谷産業がサポートします。

非常用発電機導入をご検討の際は、数多くの実績を持つ岩谷産業に丸ごとお任せください。

### ■当社のLPガス販売実績

	小売	卸売
業界順位	1位/16,825社	1位/1,100社
シェア	4.3%	13.3%
利用世帯数	103万世帯	330万世帯以上

### ■LPガス年間販売量ランキング 2020年度 販売実績ベース

1位	岩谷産業	1,400,000t
2位	A社	500,000t
3位	B社	479,094t
4位	C社	418,459t

出典：石油化学新聞社 2022年度版LPガス資料年報

### ■当社のLPガス供給ネットワーク

- 一次基地(輸入・備蓄基地) 4カ所
- 二次基地(LPGターミナル) 3カ所
- 三次基地(充填所) 43カ所
- 三次基地(LPG基幹センター) 53カ所

※2022年8月末現在



# 有限会社 ふるた薬局

大分県中津市宮夫12-6  
TEL 0979-22-0640

# 「想い」を 築く仕事。

 **大本組**  
**OHMOTO**

<https://www.ohmoto.co.jp/>



## DIVERS HELPING DIVERS®

ダイビングを  
楽しむために  
安全は  
最優先事項



### 安心のDAN JAPAN会員サービス

その1

#### 緊急ホットライン (24時間/365日)

ダイビングの緊急事態が発生した際、電話でのアドバイスとサポートを提供。海外DANとも連携で安心

その2

#### メディカル・インフォメーションライン (医療相談)

潜水専門医によるダイビングに関する医学情報を提供。ダイビング前後の非緊急の相談に回答

その3

#### レジャーダイビング保険 (傷害保険)

レジャーダイビング中のケガを補償し、減圧症や救護者費用にも対応。会員は任意で業務中や携行品を補償する団体保険にも加入可能

その4

#### 安全情報提供

Web会報誌「Alert Diver」を発行。安全潜水に役立つ、正確で最新の情報が満載

その5

#### 再圧治療費補助制度

発症が疑われるダイビングから2週間以内の再圧治療費を一部補助

DAN JAPANは  
ダイビングの安全性向上を  
目的として活動しています



DAN JAPANは(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会が運営するレジャーダイバーのための団体です

DAN JAPAN/  
(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会  
神奈川県横浜市中区本町4-43 A-PLACE馬車道9F  
Tel.045-228-3066  
✉info@danjapan.gr.jp

詳しいサービス内容はQRコードでチェック





医療機器販売

# 九州風雲堂 販売株式会社

本社

〒812-0006

福岡市博多区上牟田1丁目11番31号

TEL 092-483-1881 FAX 092-483-1888 fuundo.jp

営業所

福岡・北九州・久留米・佐賀・唐津・佐世保・長崎・諫早・五島  
関門・宇部・周南・広島・大分・天草・延岡・宮崎・鹿児島・愛媛



## Lsupport

マンション、ビル管理  
清掃・各種保険代理業

### 株式会社 エルサポート

本社 〒879-0444 大分県宇佐市大字石田142-1 アクトV 1F  
TEL 0978 (34) 6158 FAX 0978 (34) 6163  
福岡営業所 〒810-0053 福岡県福岡市中央区鳥飼2丁目8番5 101号



あなたのインテリア造りをお手伝いする

## ギフトインテリア

GIFTER INTERIOR

大分県中津市加来2283

TEL 0979-32-3299



あなたに合わせた、  
最高の仕事を担当して...

医療・健康ニーズに応えて、  
人々の健康・福祉に  
いっそう貢献したい。



患者さんのために、わたしたちにできることがきっとある。  
これからも医療・健康ニーズをとらえ、  
独創的な新薬を開発してまいります。



持田製薬株式会社

<https://www.mochida.co.jp/>

もっと飲みやすく。ジェネリックに、東和品質を。  
もっと扱いやすく。



医薬品情報に関するお問い合わせ

東和薬品 学術部 DIセンター〈医療関係者様用〉

〒812-0006 福岡市博多区上牟田1丁目11番31号  
TEL 0120-108-932

フリーコール

平日 8時30分～18時30分

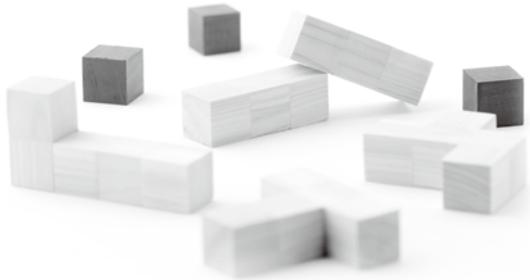
こころの笑顔も、すべてのひとに。  
あしたの健康を、あなたのものに。



東和薬品

AsahiKASEI

Creating for Tomorrow



旭化成ファーマ株式会社



科研製薬株式会社  
KAKEN KAKEN PHARMACEUTICAL CO., LTD.

ビル用アルミサッシ・住宅用アルミサッシ  
建築金物・板ガラス・販売施工



株式会社  
代表取締役 長野 定生

〒871-0024 大分県中津市中央町1丁目4の36  
TEL 0979-22-1165 FAX 0979-25-0926

地域のために  
みらいのために

RFG  
地域みらいグループ



Oita Mirai

株式会社大分みらい建設  
代表取締役社長 三浦 寿雄  
874-0919  
大分県別府市石垣東8-1-13  
Tel 0977-24-0287

帳

お気軽に  
お立ち寄りください!!

子どもから大人まで楽しめる街の文具店★

株式会社 シンヤ

中津市中央町2丁目 TEL 0979-22-1525



お客様に喜びと感動を

食事は日々の楽しみのひとつ。  
だからこそ、食の感動を大切にしたい。

北海道から沖縄まで、  
日本全国 2,600 箇所以上の施設で  
食事サービスを提供している企業です。

お問い合わせ  
LEOC 九州営業所  
092-762-2121



選択肢をつくる。  
希望をつくる。

田辺三菱製薬  
<https://www.mt-pharma.co.jp/>



世界中の人々の  
健康で豊かな生活に貢献する

イノベーションに情熱を。ひとに思いやりを。  
 第一三共株式会社